

第3回 地域学校協働部会

開催日・出席者等

開催日時	令和8年8月21日（金）午後2時00分から午後4時30分		
場 所	役場401会議室		
部 会 員	社会教育委員	羽田 吉彦（部会長）	
	南小学校長	中村まゆみ（副部会長）	欠 席
	山ノ内町社会福祉協議会	鈴木 浩史	
	オブザーバー	南條信太郎	
	南小CS地域コーディネーター	平原 進	
	西小CS地域コーディネーター	小河原康貴	欠 席
	山ノ内中学校PTA	山口 辰也	
	子ども会育成会連絡協議会長	小林 正俊	欠 席
	里山ようちえん おやまのおうち	山崎 龍平	欠 席
	スポーツ推進委員	中野 哲良	欠 席

●会議の内容

1 南小学校児童クラブの見学（長期休み中の児童クラブ利用の実際について）

○見学を通しての感想

- ・ 自由な雰囲気や見守り体制がよかった。
- ・ 学年をこえて安全面も考えながら遊ぶ姿が見られた。
- ・ 夏休み等の長期休業中に全員や希望者が関われるプログラム（地域住民と連携した調理教室、探検、スポーツ・ゲーム教室など）を取り入れることで、こどもたちに体験の幅を提供できたら面白いと思う。
- ・ こどもからより広い施設を望む声も、これくらいがちょうどよいという声も両方あった。

2 協議事項

- （1）北部児童クラブの運用について 学校づくり準備委員会（7月22日）の報告
前回の内容で準備委員会で合意したことを報告した。
- （2）これからのPTA組織について
 - ① 各学校のPTAの取り組みや様子について
資料をもとに4校のPTA組織の編成や活動についてその概略を共有した。

○ 委員からの意見

- ・ 町内 4 校それぞれで本部や専門部（教養部、校外指導部、子育て委員会など）を置き、役員選出や業務の工夫（会費の引き落とし化、会報発行回数の削減など）により負担軽減を図りつつ運用している。

② PTA を取り巻く状況について

県生涯学習課から提供のあった資料と、懇談結果をもとに PTA を取り巻く状況について以下のような内容を共有した。

- ・ PTA は任意加入の社会教育団体であり、強制加入問題や個人情報保護、会計運用等をめぐる全国的な課題（脱退・解散・訴訟増加の傾向）が存在する。
- ・ 上部組織（郡 P・県 P 等）からの脱退事例や、民間保険の活用によるデメリット解消の動きなど、多様な変化が生じている。

○ 委員からの意見

- ・ 負担感などを叫ばれる状況であっても、保護者が果たすべき役割はあり、保護者が責任をもって子育てを行うということは大事だ。何らかの組織は必要だと思う。
- ・ 組織が教員と保護者だけである必要はないと思う。地域がかかわれる形を考えたい。一方で、保護者の責任は共有し、地域任せということはないようにしたい。

③ PTA に関する議論の今後のスケジュールイメージ

次第裏面のスケジュールを目安に令和 9 年度末までに会則等のイメージを作成し、令和 10 年の早い段階で準備委員会での決定、保護者への周知を図ることを提案した。

④ グループワーク 「山ノ内町の PTA（保護者組織）が目指す先」

テーマⅠ PTA のよさ・課題は何だろう？

（１）PTA のよさ

- ・ 学校や教員とのつながり・コミュニケーションができる。
- ・ 保護者同士および子どもとのつながりが深まる。
- ・ 学校の様子や教育活動への理解が深まる。

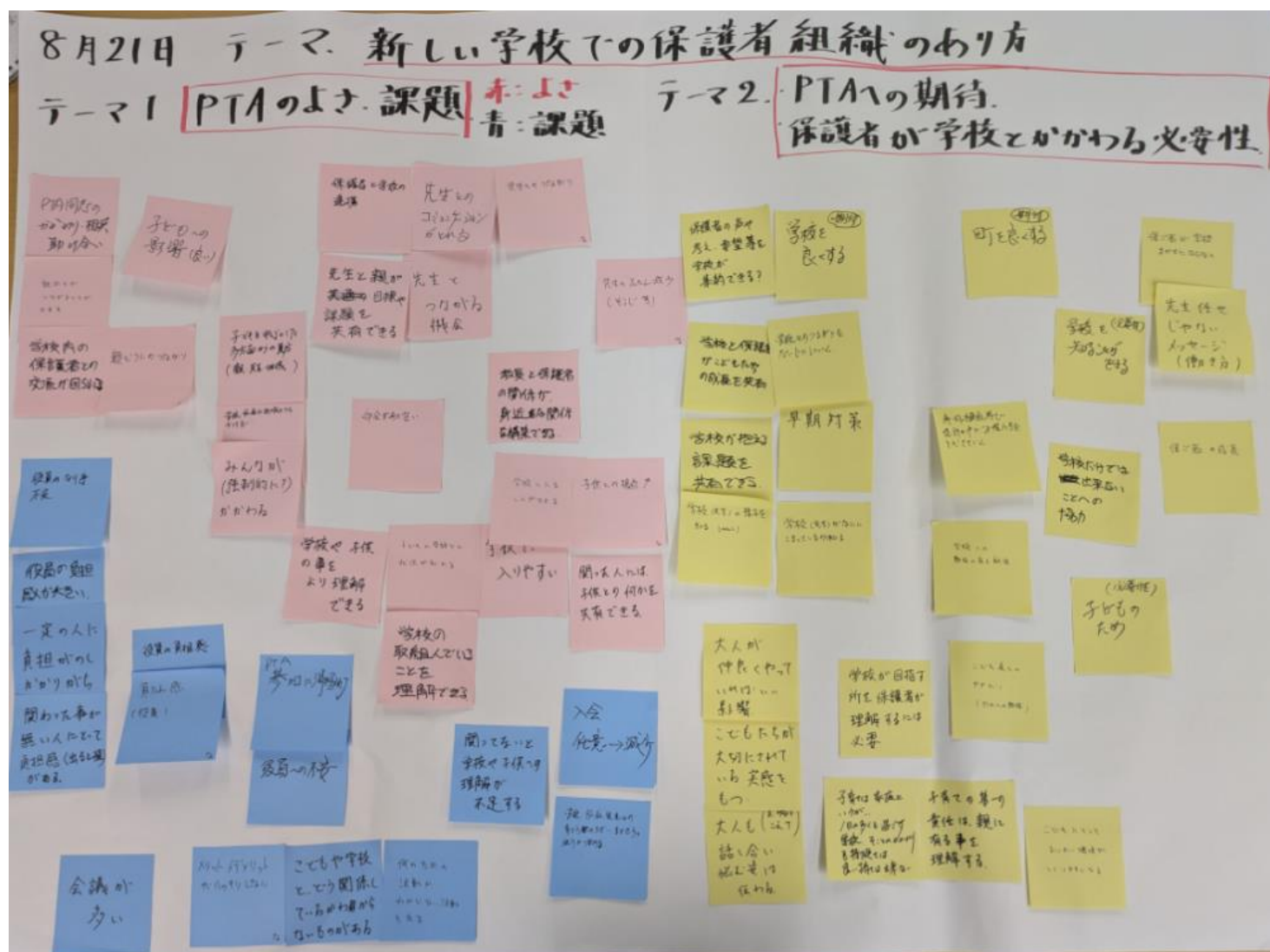
（２）PTA の課題

- ・ 役員負担感の重さ、特定の人物（会長等）への過度な負担集中。
- ・ 未経験ゆえの不安から参加へ消極的になる悪循環や人任せになりやすい傾向。
- ・ 会議の多さや、活動目的・メリットが不明確な事業の存在。

テーマⅡ PTA に期待することや、保護者が学校にかかわることの必要性はなんだろう？

- ・ 親としての意識や関わりを高める機会となる。
- ・ 「多くの大人に大切にされている」という実感を子どもたちが持てる。
- ・ 学校や地域を支え、より良い環境をつくる基盤となる。

グループワークの成果物



●決定事項

① 保護者組織の設置

- ・ 既存の PTA という名称や形式に固執せず、負担軽減を図りながらも、「地域・学校・保護者・子どもが深くつながり合える保護者組織」を新しい学校においても構築すること。

② 既存スタイルにとらわれない組織

- ・ 前例踏襲の組織構成や行事を見直し負担感を抑えた持続可能な組織スタイルを目指して設計を進めること。
- ・ 次回の日程：9月25日（金）17：00～ 準備委員会との合同会
- ・ 会場：文化センターホール
- 内容：閉校記念事業について
保護者組織の在り方について